

科目分類	共通科目			開講時期	1・2年 前期	
研究キーワード	医療倫理・看護倫理・生命倫理・研究者の倫理					
科目名	医療倫理学					
英文	Medical Ethics					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	茂庭 将彦					
メールアドレス	n-moniwa@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	随時相談に応じます。			

授業目的	医療従事者（看護師）及び研究者として必要な倫理観を身に付ける。特に、最新の情報を把握し、適切な倫理的判断できる能力を育成する。
授業概要	<p>医療・看護の場における倫理的課題を明らかにし倫理的な意思決定を行うために、医療や看護における倫理の歴史的背景と主要な概念について考究する。さらに、倫理的アプローチの方法論に関する学習を通して、倫理的な諸問題に対する感受性を高めるとともに、倫理的に判断し調整できる能力を養う。</p> <p>授業では、①医療・生命倫理の歴史的背景を踏まえて看護倫理のあり方を考え、②倫理規範および倫理に関わる主要な概念への理解を深める。また、③事例を用いて倫理的な意思決定、倫理調整のプロセスを理解すると同時に、④倫理的な諸問題に対する感受性を高めることを目指す。</p>
授業計画	<p>第1回 医療倫理の歴史と変遷</p> <p>第2回 看護倫理の歴史と変遷</p> <p>第3回 看護における倫理綱領</p> <p>第4回 先進医療と倫理(1)</p> <p>第5回 先進医療と倫理(2)</p> <p>第6回 看護実践における倫理的問題点(1)</p> <p>第7回 看護実践における倫理的問題点(2)</p> <p>第8回 ヒトを研究対象とする研究者の倫理(1)</p> <p>第9回 ヒトを研究対象とする研究者の倫理(2)</p> <p>第10回 ヒトを研究対象とする研究者の倫理(3)</p> <p>第11回 倫理的問題事例の分析(1)</p> <p>第12回 倫理的問題事例の分析(2)</p> <p>第13回 倫理的問題事例の分析(3)</p> <p>第14回 医療裁判と倫理</p> <p>第15回 まとめ</p>

<b>教材 参考文献等</b>	参考文献 サラ T. フライ他著；看護実践の倫理—倫理的意思決定のためのガイド、日本看護協会出版会、2011 日本学術振興会編；科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得、2015
<b>成績評価 基準・方法</b>	レポート（50%）、プレゼンテーション（50%）
<b>履修要件</b>	なし
<b>関連科目</b>	なし
<b>留意事項 その他</b>	なし